

競技注意事項

1. 競技規則について

2025年度日本陸上競技連盟規則および本記録会要項・競技注意事項・申し合わせ事項による。

2. 開門時刻 7:00

3. 練習について

(1) 練習は指定された場所で実施すること。練習時間については下記のとおりとする。

※状況によって変更することがあります。

メイン競技場	【7:00～9:00】トラック 【7:00～9:00】跳躍 【7:00～9:00】砲丸投	1～2 レン 中・長距離 3～8 レン 短距離・リレー (ホームストレートの6～8 レンはハードルが使用) 6～8 レン (ホームストレート) ハードル 逆走は禁止
雨天練習場	使用しない	天候の状況により使用する場合、別途指示する
サブ競技場	【7:00～16:00】走練習のみ	フィールド内 (人工芝) でのスパイク練習禁止 逆走は禁止

(2) ハンマー投、円盤投、やり投、ジャベリックスローは招集完了後、競技場内で係員の指示により練習する。

(3) 練習は原則として監督が付き添って行うこと。また、安全に留意し、各チームの監督の責任において行うこと。

(4) メイン・サブ競技場、雨天走路での逆走および走路でのミニハードル、マーカー、チューブ等の器具を使用しての練習は禁止とする。

(5) 競技場内での投てき器具(メイシンボール等)を使用しての練習は事故防止のため禁止する。(砲丸投ピットでの砲丸投の練習を除く)

(6) トラックを横切る際は、左右を確認し十分に注意すること。

4. 招集について

(1) 招集開始および完了時刻は右記のとおりとする。

(2) 招集は、競技開始場所に招集時刻に集合し、役員にアスリートビブスを見せて確認を受けること。

招集開始から完了時刻にのみ点呼を行う。なお、招集完了時刻に遅れた選手は当該競技種目を棄権したものとみなして処理する。

(3) リレーのオーダー用紙は各種別の1組の招集完了時刻1時間前までに競技場1階100m ゴール側の記録情報室に提出する。(オーダー用紙も記録情報室にある)

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始15分前	競技開始 5分前
跳躍	競技開始30分前	競技開始20分前
棒高跳	競技開始50分前	競技開始40分前
投てき	競技開始30分前	競技開始20分前

5. アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは各種目とも、胸・背部両面につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか一方でもよい。

(2) トラック競技で1500mおよび3000mに出場する競技者は腰ナンバー標識を右腰臀部につけること。ナンバー標識は、競技開始場所で受け取り、各競技終了後はただちに返却すること。

6. 競技について

(1) スタートの合図は「On Your Marks」「Set」のイングリッシュコマンドとし、不正スタート1回で失格とする。

(2) リレー競技について、同一団体から2チームを申し込んだ場合、チーム間で競技者の移動はできない。

(3) セパレートレーンで行う競技では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。

(4) フィールド種目(走高跳・棒高跳を除く)は3回の試技とする。

(5) 走高跳・棒高跳の競技開始の高さおよびバーの上げ方については、現地の役員の指示に従うこと。

(6) 競技用具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、やり・棒高跳用ポールについては、審判員の検定を受け合格した物に限り使用することができる。検定については、棒高跳用ポールは現地で、やりは競技開始の60分前にフィニッシュ側器具倉庫において行う。

(7) スパイクシューズのピンは長さ9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

(8) 靴底の厚さは、20mm以内とする。

選手はWA承認シューズリストのシューズを着用していることを前提とし、招集所や選手受付などの参加者全員のシューズチェックは行わない。ただし、審判長の権限により、いつでもシューズチェックをすることができる。その場合、参加者はその指示に従わなければならない。

7. その他

(1) 発病・負傷については、応急処置以外の責任は負わない。

(2) 各自で感染予防のための行動を心がけること。

(3) 更衣室は使用できるが、更衣は速やかに済ませ、長時間滞在しない。シャワーの使用は禁止する。

(4) 貴重品の管理は各自が責任を持って行うこと。紛失の責任は負わない。

(5) ゴミは各自責任を持って持ち帰ること。

(6) 競技会の参加者氏名・所属および成績等については、島根陸上競技協会ウェブサイトおよび新聞等に掲載される。